

古民家で子どもたちと何でもない日々を重ねたい

2025年4月の開放日数 15日

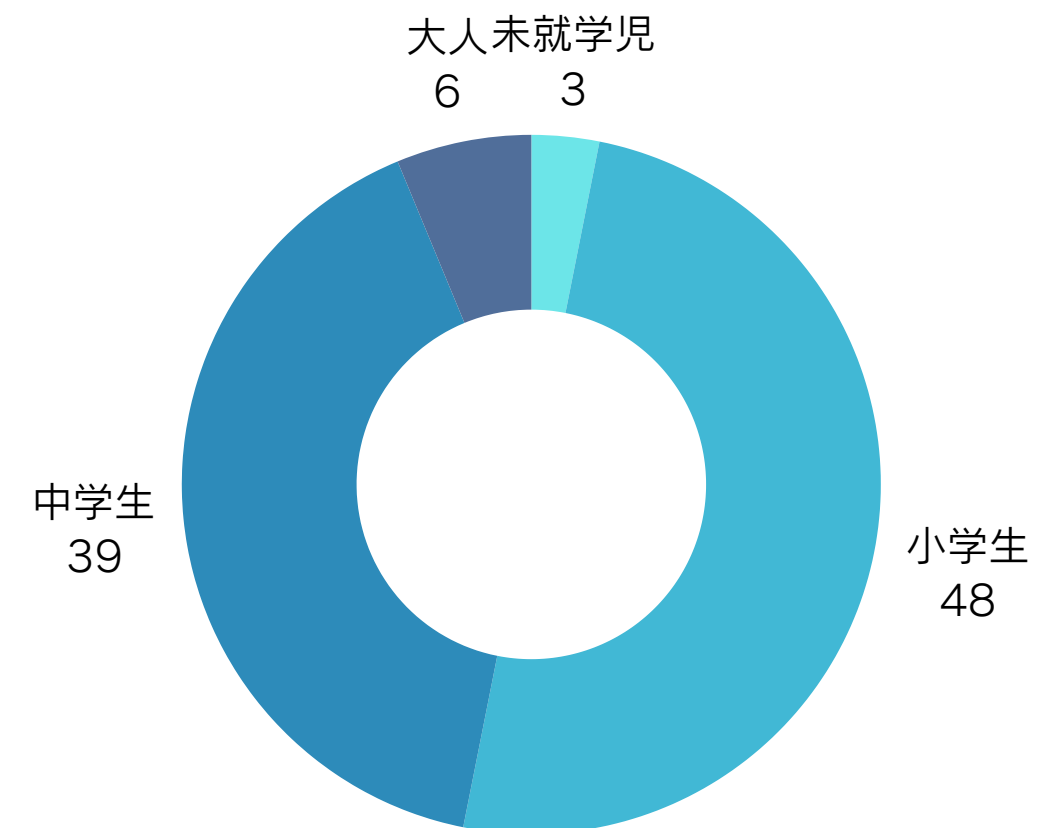
一緒に時間をすごした人数 96人

子どもとともに

わっか
月次報告書

2025年4月

67号



「おっちゃん、きょう、あいて、、？」と登校の見守りをしていると、わっかの常連の子が聞いてきます。「る」は開いている「へん」は開いてへん、を伝える返事です。

「○曜日は行けへん」「○曜日は開けて」と彼のいける日といけない日も知りました。こうやって、自分の来れる日や時間帯を教えてくれる子どもたちがいます。できるだけ彼らの来れる曜日や時間まで開けていたいなあと思うのです。ただ、それができないときも、申し訳ないなあと思いつつ彼らと話をして、来れないことを伝えます。来れると言っているけど、来ないこともしょっちゅうです（笑）でも、なんかね、そういう自分のあけてほしいときを伝えてくれるって嬉しいです。ここが彼らの日常の一部になっているんだなあと思ったりします（勝手にね）

ご寄付について



寄付者（今年度のみ）

25人



あらたなご寄付者

2人



物品でのご寄付

ラーメン、お菓子
漫画（NARUTO全巻）

4人

NPO法人
わっか



古民家の裏にある空き地にはリヤカーがあります。ブームは曳山ごっこ。この地域は10月に子ども歌舞伎があり、その真似がたのしいようです。



自転車でやってきて、ここに停めて、中に入ってきます。できるだけ停められるように、子どもたちなりに考えて停めています。



もっと近所の子は、キックボードみたいなので来ます。ここに停めきれないほど自転車がきたときは、すぐ近くにある借りている駐車場に停めてもらいます。



土間には寄付でいただいたフルサイズの卓球台があります。こどもたち、これ大好きです。あと、靴はバラバラ（笑）揃えてとも言いませーん。



暖かくなってきたので、開けっぱなしにしておけます。するとお互いに見えるので下校中の子どもが声をかけてくれます。



古民家の床を改修してくださった業者の方が、廃材を置いて言ってくれました。それに気づいて椅子をつくりはじめました。ボクにつくってくれているようで、ときどき「おっちゃんの椅子」と笑い声と一緒に聞こえてきます。



子どもたちが自分できたい時に来れる場所は、子供達にとって当たり前にあっていい環境だと思います。みなさんのご支援で続けられています。ありがとうございます。